

第 12 回 土木構造物検討会 議事録

1 . 開催日時：平成 19 年 7 月 6 日（金）13：30～16：00

2 . 開催場所：日本電気協会 4 C 会議室

3 . 出席者：（順不同，敬称略）

委員：衣笠主査（東京工業大学），西副主査（電中研），山崎（首都大学東京），金谷（関西電力），
氏家（北海道電力・四家代理），大宮（東北電力），仲田（中部電力），寺田（北陸電力），
大内（四国電力），清水（中国電力・川本代理），生貞（九州電力），北川（日本原電），
五月女（電源開発），金津（電中研）（計 14 名）

常時参加者：森（日本原電）（計 1 名）

オブザーバ：中村，伊藤（原子力安全基盤機構），花田（日本原子力技術協会）（計 3 名）

事務局：荒木（日本電気協会）（計 1 名）

4 . 配布資料

資料 No.12-1 第 11 回 土木構造物検討会議事録（案）

資料 No.12-2-1 地盤調査・試験

資料 No.12-2-2 基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価

資料 No.12-2-3 津波水位評価

資料 No.12-2-4 重要土木構造物の耐震設計

5 . 議事

（ 1 ）検討会出席者の確認及び前回議事録（案）の確認について

事務局より，本日の代理出席者は 2 名であり，代理出席者については規約に基づき衣笠主査の承認を頂いた。また，代理出席を含む出席委員は 14 名であり，規約上，決議に際して求められる委員総数の 2 / 3 以上の出席であることが確認された。

また，事務局より前回議事録（案）の紹介を行い，出席者全員の賛成で了承された。

（ 2 ）主査の選任

衣笠主査は，任期 2 年を経過のため，規約に基づく主査選出手続きを行った。主査候補として衣笠委員が推薦され，その他候補者の推薦がないことを確認した後，挙手による決議を行った結果，出席委員 14 名のうち候補者本人を除く全員の賛成で，衣笠委員が主査に選出された。その後，衣笠主査より，副主査として西委員が，幹事として金谷委員が指名された。

（ 3 ）地盤調査・試験

資料 No.12-2-1 により地盤調査・試験について説明を行い審議した。本案を次回耐震設計分科会に諮ることについて，出席者全員の賛成で了承された。

(4) 基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価

資料 No.12-2-2 により基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について説明を行い審議し、コメントをふまえ見直し、次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

- ・ 5.2.6.1 動的解析(4)応答解析で、等価線形解析の記載において、地盤の剛性のあとに減衰定数を追加して記載すること。
- ・ 箱書きを細かく細分化しすぎているので、纏めた箱書に見直すこと。

(5) 津波水位評価

資料 No.12-2-3 により津波水位評価について説明を行い審議し、コメントをふまえ見直し、次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

- ・ 津波水位評価の * .3.4 その他で、「津波の固有周期と水理応答の固有周期が同程度である場合は、必要に応じて」とあるが、必要に応じての記載は不要ではないか、削除する方向で検討のこと。

(6) 重要土木構造物の耐震設計

資料 No.12-2-4 により重要土木構造物の耐震設計について説明を行い審議し、コメントをふまえ見直し、次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

- ・ 5.5.2 動的解析法(3)地震力の重ね合わせ解説のなお書きは、主旨が明確でないので適切な表現に見直すこと。

6 . その他

次回検討会は、7 / 3 1 P M を仮設定とした。

以 上